

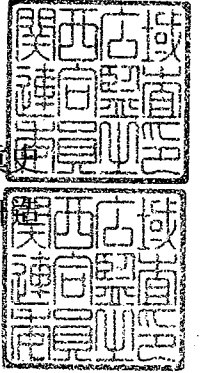
関 広 監 第 6 号

平成 26 年 8 月 1 日

関西広域連合長 井戸 敏三 様

関西広域連合監査委員 澤田 眞

関西広域連合監査委員 釜谷 研



平成 25 年度関西広域連合一般会計歳入歳出決算の審査意見について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定に基づき審査に付された平成 25 年度関西広域連合一般会計歳入歳出決算に対する意見書を、別紙のとおり提出します。

平成25年度

関西広域連合
一般会計歳入歳出決算審査意見書

関西広域連合監査委員

目次

第1	審査の対象	1
第2	審査の方法	1
第3	審査の結果	1
第4	審査の概要	2
1	一般会計の状況	2
2	実質収支の状況	5
3	財産の状況	5

平成 25 年度関西広域連合一般会計歳入歳出決算審査意見

第 1 審査の対象

平成 25 年度 関西広域連合一般会計歳入歳出決算

第 2 審査の方法

審査にあたっては、歳入歳出決算書、決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書、及び附属書類が関係法令に準拠して作成されているかどうかを確認するとともに、これらの計数について関係諸帳簿及び関係資料を照合審査し、併せて関係職員から説明を聴取した。

第 3 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書、諸調書は、いずれも関係法令に準拠して作成され、いずれも決算計数に相違ないことを確認した。

予算執行及び財産管理については、適正に行われていると認められた。

なお、特に指摘すべき意見はない。

第4 審査の概要

1 一般会計の状況

(1) 決算収支

決算収支についての状況は、第1表のとおりである。

第1表 決算収支の状況

(単位：円、%)

区 分	年 度	平成 25 年度
	予 算 現 額	A
歳 入 額	B	1,205,142,319
歳 出 額	C	1,192,845,772
形 式 収 支 (B-C)	D	12,296,547
翌年度に繰り越すべき財源	E	0
実 質 収 支 (D-E)	F	12,296,547
予 算 執 行 率	歳入 (B/A)	98.9
	歳出 (C/A)	97.9

本年度は、 予 算 現 額 1,218,511,000 円 に対し
歳 入 1,205,142,319 円
歳 出 1,192,845,772 円 で
差 引 額 は、 12,296,547 円 となっている。

翌年度に繰り越すべき財源はないため、実質収支額は12,296,547円である。

(2) 歳入

歳入予算の執行状況は、第2表のとおりである。

第2表 款別の収入状況

(単位：円、%)

区 分	予算現額 A	調 定 額 B	収入済額 C	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率 C/A	収入済額 の構成比
分担金及び負担金	867,619,000	848,433,000	848,433,000	0	0	97.8	70.0
使用料及び手数料	113,626,000	118,657,100	117,682,000	0	975,100	103.6	9.8
国庫支出金	227,094,000	227,094,000	227,094,000	0	0	100.0	18.8
寄 付 金	1,000	0	0	0	0	0.0	0.0
繰 入 金	2,304,000	2,304,000	2,304,000	0	0	100.0	0.2
繰 越 金	4,608,000	4,608,958	4,608,958	0	0	100.0	0.4
諸 収 入	3,259,000	5,020,361	5,020,361	0	0	150.0	0.5
計	1,218,511,000	1,206,117,419	1,205,142,319	0	975,100	98.9	100.0

歳入の決算状況は、予算現額 1,218,511,000 円に対し、収入済額は 1,205,142,319 円である。

収入の内訳は、構成団体からの負担金が 848,433,000 円、通訳案内士登録及び調理師・製菓衛生師・准看護師試験・登録等に係る手数料が 117,682,000 円、ドクターヘリ運航事業及び文化芸術振興事業に係る国庫支出金が 227,094,000 円、繰入金が 2,304,000 円、繰越金が 4,608,958 円、諸収入が 5,020,361 円となっている。

なお、負担金は最終補正後、支出見込みを精査し、各府県への請求をあらかじめ減額調整 (19,342,000 円) している。

(3) 歳出

歳出予算の執行状況は、第3表のとおりである。

第3表 款別の歳出状況

(単位：円、%)

区 分	予算現額 A	支出済額 B	翌年度 繰越額C	不 用 額 A - (B+C)	執行率 B/A	支出済額 の構成比
議 会 費	12,767,000	11,192,060	0	1,574,940	87.7	0.9
総 務 費	338,497,000	330,859,466	0	7,637,534	97.7	27.8
事 業 費	866,246,000	850,794,246	0	15,451,754	98.2	71.3
公 債 費	1,000	0	0	1,000	0.0	0.0
予 備 費	1,000,000	0	0	1,000,000	0.0	0.0
計	1,218,511,000	1,192,845,772	0	25,665,228	97.9	100.0

歳出の決算状況は、予算現額 1,281,511,000 円に対し、支出済額は 1,192,845,772 円で、執行率は 97.9%、不用額は 25,665,228 円となっている。支出の主な内容は、議会費においては、連合議員の報酬、旅費、議事録作成費、会議室借上料であり、総務費においては、職員旅費、広域調整業務の調査委託費、本部事務局運営に関する経費、派遣職員の人件費負担金、財政調整基金への積立金である。また、事業費においては、ドクターヘリ運航補助金、各分野事務の調査研究委託料等事業の推進に要する経費となっている。

事業費について、15,451,754 円の不用額が生じているが、これは、経費節減によるもののほか、ドクターヘリ配置・運航事業費等について、見込んだ事業費との差額によるものである。ただし、各府県への負担金の請求をあらかじめ減額調整していたことにより、歳入歳出を差し引いた剰余金は 12,296,547 円となっている。

2 実質収支の状況

審査に付された実質収支に関する調書は、関係法令に準拠して作成され、計数は正確であると認められた。

3 財産の状況

財産の当該年度における異動及び当該年度末現在高の状況は、以下のとおりである。
なお、公有財産、債権及び基金はない。

(1) 物品

第4表のとおり、平成25年度中における100万円以上の物品の取得はなかった。

第4表 物品

(単位：点)

区 分	年度中増加高	年度末現在高
会議用マイクシステム	0	1
財務会計システム	0	1